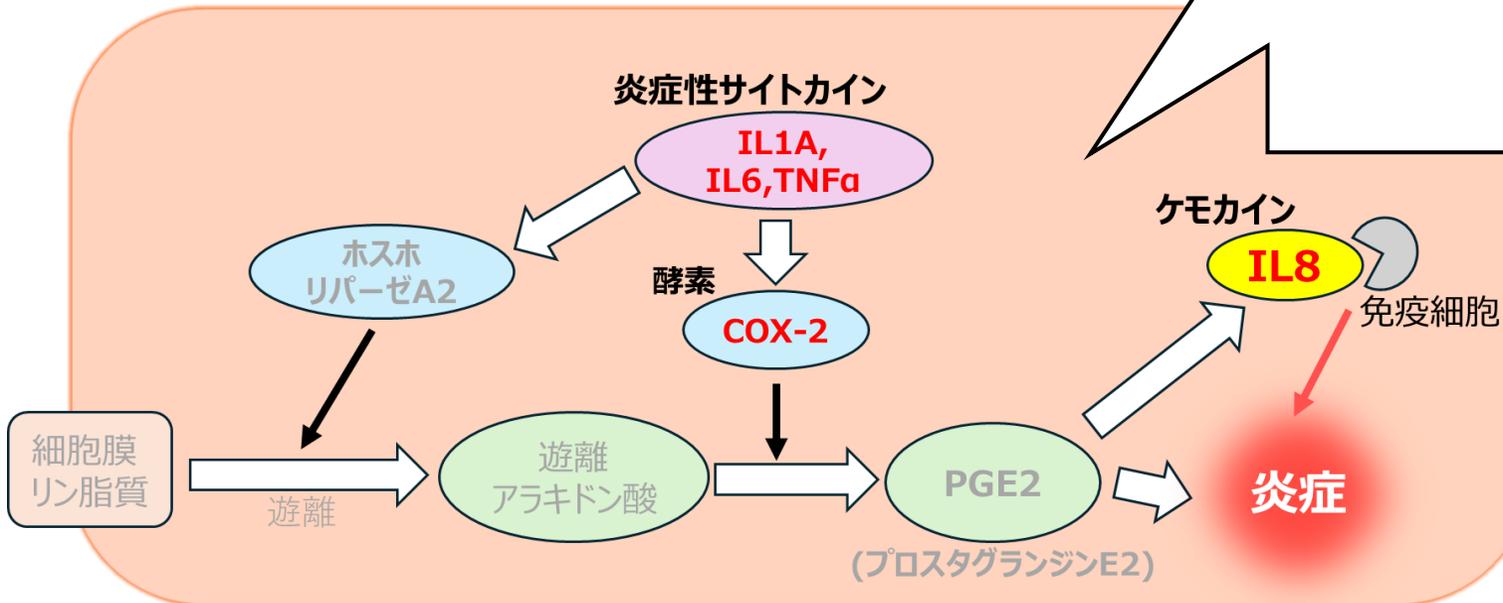
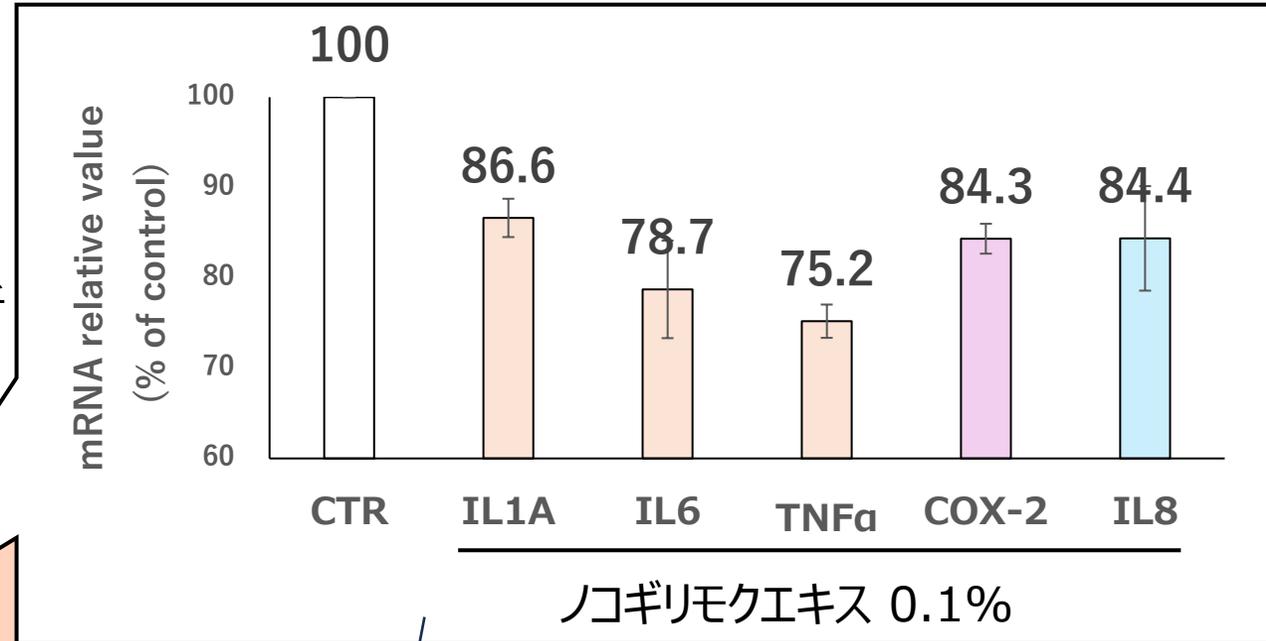
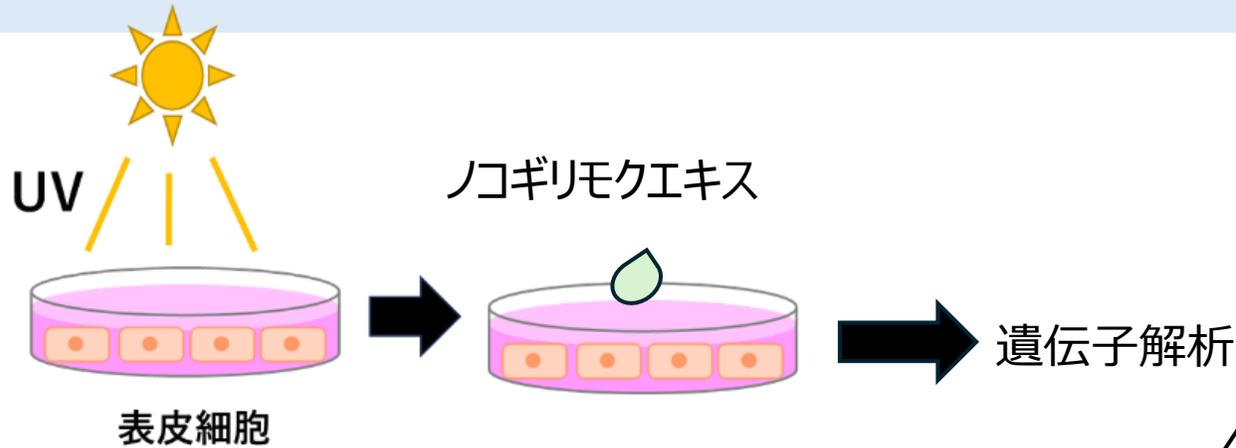


ノギリモクエキスに抗炎症作用を発見

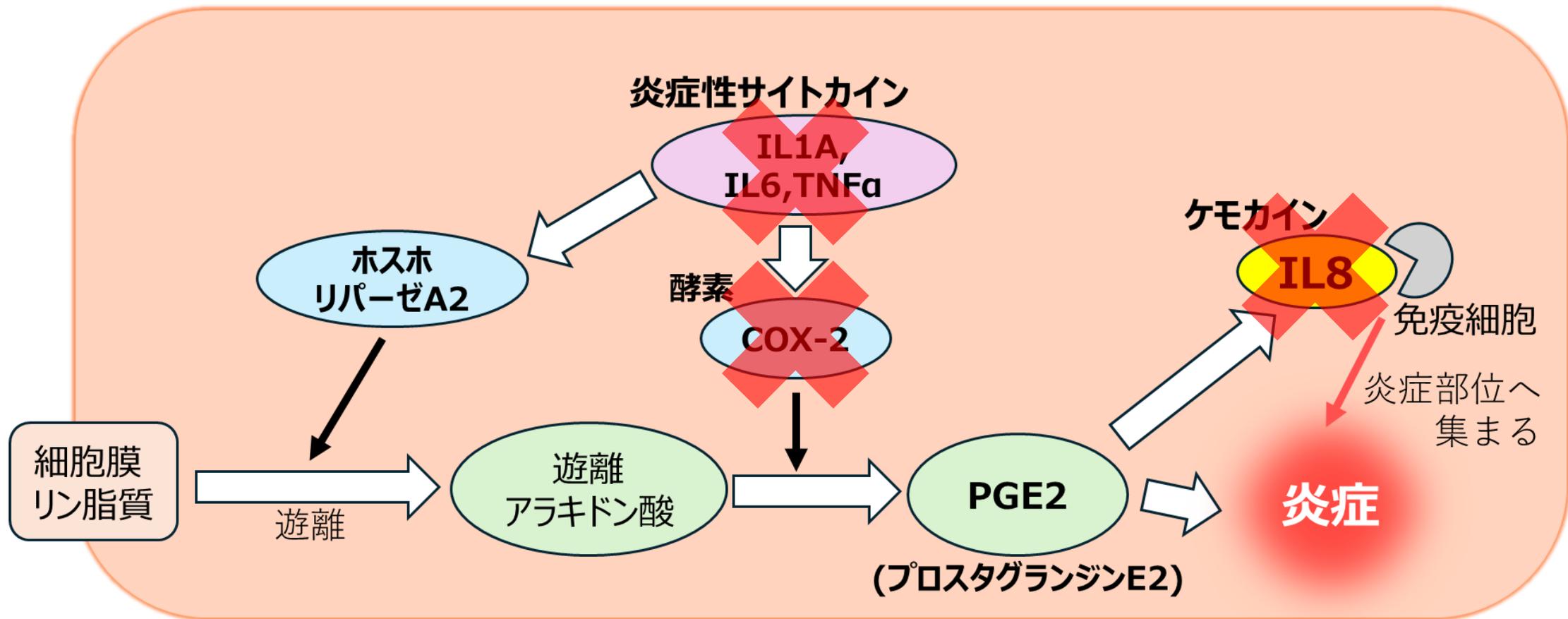
三省製薬



表皮細胞に紫外線を照射した後、ノギリモクエキスを添加し、サイトカインをはじめとする、炎症に関連する赤字で示している5つの遺伝子の発現を分析。その結果が、紫外線を照射したコントロールの遺伝子発現量の相対値を100%として比較すると、ノギリモクエキスによって評価を行った5種類の炎症関連遺伝子の発現を抑制する結果を得ることができた。(2025年、三省製薬による実験)

抗炎症効果向上が期待できる

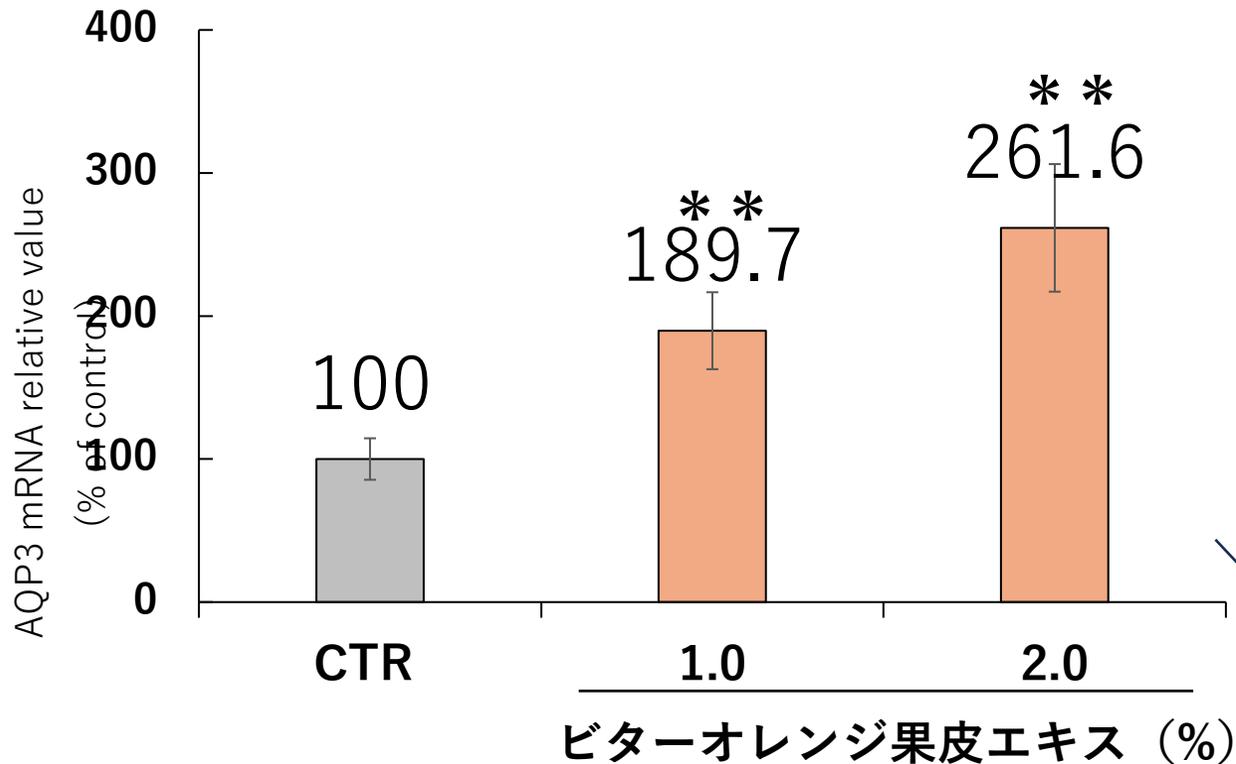
三省製薬



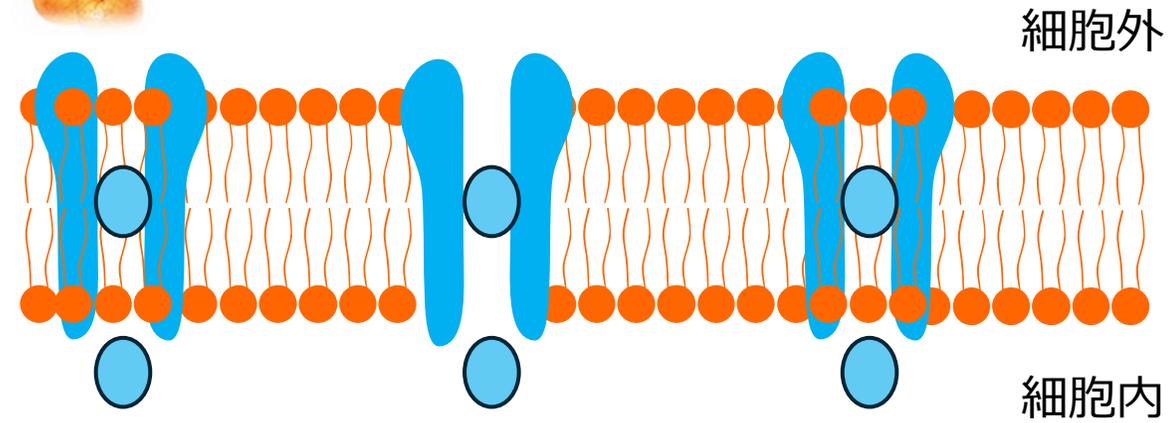
**炎症関連因子の遺伝子発現を抑制
➡抗炎症効果向上が期待できる**

ビターオレンジ果皮エキスにアクアポリン3の 産生促進作用を発見

三省製薬



ビターオレンジ



表皮細胞に「ビターオレンジ果皮エキス」を加え、遺伝子発現を確認。
同エキスを1%加えることで、アクアポリン3の遺伝子発現を約1.9倍増加させ、エキス2%では約2.6倍にまで増加させる結果に。(2025年、三省製薬による実験)

ビターオレンジ果皮エキスにアクアポリン3の産生促進効果を発見